

平成 29年 08月 31日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

ぬくもりの家

グループの名称

ふさの住まいを考える会

直近採択グループ番号

04-0623-0225

(グループ代表者)

代表者名

福田 奈穂子

代表者印

代表者所属先

秋山木材産業株式会社

代表者所在地

千葉県習志野市東習志野6-16-31

代表者電話番号

047-476-5521

(グループ事務局)

事務局事業者名

秋山木材産業株式会社

事務局担当者名

蔵田 淳

印

事務局郵便番号

275-0001

事務局所在地

千葉県習志野市東習志野6-16-31

事務局電話番号

047-476-5521

事務局FAX

047-478-9643

事務局担当者E-mail

info-al@tiara.ocn.ne.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		5	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸	
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		5	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		1	戸	
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		5	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸	
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		5	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		1	戸	
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		1	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸	
		申請が未確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸	
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸	
		申請が未確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸	
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸		
	申請が未確定(上限150万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		2	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		2	戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸		
	申請が未確定(上限165万円)		3	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		3	戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		1	戸		
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	12棟				
			1320㎡				
		申請が未確定	14棟				
			1540㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	1事業者に1戸ずつを原則とする。全施工事業者に1戸ずつとし、未経験工務店を優先する。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	6戸	交付申請戸数	3戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	3戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ぬくもりの家	(地域型住宅供給対象地域) 千葉県、東京都、茨城県、神奈川県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) ふさの住まいを考える会	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0623-0225	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・都市部ではヒートアイランド現象で夏場高温になるため、省エネ性能を重視し、平成25年省エネルギー基準を満たした性能とする。 ・首都圏直下型地震が懸念されるため、耐震性能を重視する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	自然風が利用されてきた伝統があり、通風に配慮した間取りとする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	巨大地震発生時の非常用電源の備えとして、太陽光発電システムを搭載しやすい屋根形状を推奨する。	◎
④①～③の背景	①都市部ではヒートアイランド現象で夏場高温になる地域もある。 ②海と陸の温度差で作られる空気の対流で自然の風が生活に取り入れやすい。 ③東日本大震災で被災したエリアもあり、今後首都圏直下型地震などの被害も予測されている。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	長期優良住宅建築が初めて参加構成員が多い為、最終的には施工グループの全社が取組を行えるようにグループ事務局内に支援のできるシステムをつくる。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	グループで構造標準仕様を設定し、規格の統一化を行う。	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	◎
b.	グループで標準仕様を作成することにより、建材・資材の供給を安定させる	
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ぬくもりの家実行委員会の定期的な開催を行い、技術力の向上に向けた取り組みを検討し意見交換会等を通じてグループ構成員の技術、及び意識、知識を広め信頼性を向上させる。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ぬくもりの家	(地域型住宅供給対象地域) 千葉県、東京都、茨城県、神奈川県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ふさの住まいを考える会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0623-0225	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 竣工後に住宅履歴情報の蓄積は第三者機関の「いえかるて」を活用する。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関の「いえかるて」を活用し、点検時期と点検内容を告知する。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報を蓄積したことがわかる書類の写しを事務局に提出する。	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ぬくもりの家実行委員会の定期検診にて、維持管理計画書を整備する。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ぬくもりの家実行委員会の定期検診にて、維持管理計画書を整備する。	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報に蓄積する点検シートの写しを事務局に提出する。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主様にも簡単にできる住まいのお手入れセミナーを開催する。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建材流通事業者が主催の感謝祭イベントなどに、施工構成員が出展し、体験会を実施する。	◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建材流通事業者が主催の感謝祭イベントなどに、施工構成員が出展し、相談会を実施する。	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局内にぬくもりの家維持管理検討委員会を設置し、必要に応じて構成員を招集し検診会等を開催していく。	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画書に基づく、定期的メンテナンス。	○
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて、ぬくもりの家名簿を作成し、施工事業者と建築主の管理を行う。万が一倒産廃業があった場合は、住宅履歴等を活用しながらメンテナンス等を引き継ぎ行える体制をつくる。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局から施工構成員に対し住宅瑕疵担保保険等についての説明会への参加案内をして、保険の延長等を含めてグループで検討していく。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 お引き渡し時に施工構成員からお施主様へお手入れマニュアルを配布し、施工構成員にはお引き渡し後のお施主様への定期訪問を推奨する。	○

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅グリーン化事業に参加する施工構成員のほとんどが未経験工務店であるため、セミナーや各講習会等の参加を積極的に促していく。グループ内での現場見学会(構造、完成)の開催も実施し、相互に技術研修ができる機会を設ける。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年に1回以上開催し、グループ全体の知識と技術の向上を図っていく。 1) 長期優良住宅に係る技術講習会 2) 認定低炭素住宅に係る講習会 3) ゼロエネルギー住宅に係る講習会 4) 税制、金利、住宅ローン、保険、住まいの給付金等工務店が受注活動に役立つセミナー	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講習会等の出欠により確認する。	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 5年後に施工構成員が、標準的に長寿命・高度省エネ型住宅を建築できる体制とする。	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事業終了後もグループを継続し、施工構成員が標準的に長寿命・高度省エネ型住宅を建築できる体制とする。	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員: 施工技術研修会等に参加し、技術力を高める。施工構成員の協力業者にも参加を促し、意見交換ができる場所を設ける。	◎
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 120 今年度の参加目標人数 30	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 60 今年度の参加目標人数 30	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の構成員(流通、設計、施工)に省エネ講習会の開催案内送付し、施工グループに関しては1社複数名の受講を義務付ける。また各社の協力業者にも受講するように案内していく。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の構成員の建築の見学会や勉強会を必要に応じて開催していく。	◎
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員に対し、優良住宅・高度省エネ住宅へ住まれた施主様への聞き取り調査を実施し、個人情報に配慮し、必要に応じて構成員に対して勉強会を実施する。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 事務局として出来るだけ多くの講習会等に参加することによって技術力の向上につながるよう施工グループの構成員に受講案内をしていく。 長期優良住宅関係・認定低炭素住宅・ゼロエネルギー住宅関係の各講習会を必ず1度は受講し、知識を深めて施工出来る様にする。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ぬくもりの家	(地域型住宅供給対象地域) 千葉県、東京都、茨城県、神奈川県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ふさの住まいを考える会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0623-0225	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	<p>◎、○記入欄</p> <p>◎</p> <p>◎</p>
<p>構造材(土台・柱・梁・桁)に合法木材(国内・国外)を使用する。 使用量：床面積100平方メートルの場合、主要構造材は約10立法メートル使用するが、その6割にあたる6立法メートルを使用する。 使用する割合：合法木材証明制度を60%以上主要構造部に使用する。 寸法安定性を高めるため、主要構造材は全てKD材もしくは集成材とする。</p> <p>□ 50%未満 ■ 50%以上 □ 80%以上</p> <p>土台： □ 使用していない ■ 使用している 柱： □ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等： □ 使用していない ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等： ■ 使用していない □ 使用している 造作材 枠材、廻縁等： ■ 使用していない □ 使用している 板材 壁板、床板等： ■ 使用していない □ 使用している</p> <p>・合法木材の一部においては産地・出荷者が多岐にわたり 原木供給が困難な場合は、製材構成員等の合法証明によって代替する。 ・建材流通もしくは施工業者がプレカット工場に認証材を持ち込み加工する場合がある。</p>		
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p>	<p>○</p> <p>◎</p> <p>◎</p>
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p> <p>その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
東日本大震災の復興に資する取組		
防潮林を植林する活動などを行う。		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		
該当なし		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) ぬくもりの家	(地域型住宅供給対象地域) 千葉県、東京都、茨城県、神奈川県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) ふさの住まいを考える会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0623-0225	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【認定低炭素住宅】

・後日、太陽光発電パネルが搭載できる屋根形状とする。

【ゼロ・エネルギー住宅】

・後日、蓄電池等の設備を追加しやすい設計とする。

・一次エネルギー削減量 V地域 R=100.0%、R0=20.0% VI地域 R=100.0%、R0=20.0% VII地域 R=103.0%、R0=20.0%

・未経験工務店に対してBELSの普及と、ともなった技術力の向上。

【優良建築物】

・内装の一部を木質化する。